



東地中海地域ニュース

イスラエル：関係修復を目指す対トルコ外交

(2月2日付ハーレツ紙)

2日付ハーレツ紙は、来週にもイスラエル首相府とトルコ首相府のそれぞれの首相補佐官が会談し、ガザにおける軍事作戦以降もつれていた二国間の関係修復を試みると報じている。概要以下のとおり。

1. イスラエルとトルコ両国は、ガザにおける軍事作戦以降もつれていた二国間関係の改善にむけて静かに動き出している。イスラエル首相府高官筋によると、来週中にもシャローム・トゥルジュルマン首相補佐官とラジャフ・タイプ・エルドアン・トルコ首相補佐官が会談し、それぞれメッセージを伝達するものとみられている。
2. イスラエル首相府内からは、「イスラエルは、今回トルコとの間で生じた二国間の隙間を広げるような意図はない。トルコとの関係は二国間にとって戦略的に重要な財産である」とし、これ以上二国間関係を傷つけるのではなく、修復する意図があると述べた。
3. 1日、オルメルト首相は、「トルコも内政の問題を抱えており、選挙を控えたイスラム国家である」とガザ紛争以降ひずみが生じていた対トルコ関係について初めて言及した。